

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 青森県

農業委員会名： 平川市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和4年 4月 1日

任期満了年月日 令和7年 3月 31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	11
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	3
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	8	8	8

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	2,330
農業経営体数	1,921

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入【農林業センサス2020より】

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	3,042
女性	1,292
40代以下	397

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入【農林業センサス2020より】

	経営体数(経営体)
認定農業者	346
基本構想水準到達者	144
認定新規就農者	14
農業参入法人	13
集落営農経営	4
特定農業団体	0
集落営農組織	4

※農業委員会調べ【農業参入法人数は農業委員会調べ、他は令和3年度「担い手の農地利用集積状況調査」(市農林課提供)より】

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,500	2,640	—	—	—	5,140

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入【令和3年度市町村別調査結果より】

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	前年度末の集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	5,140 ha	2,827 ha	55.0 %
課題	・ 水稲と果樹を主とした経営体が多い中、水稲と比べ、樹園地の借り手が見つからず、集積が進まない。 また、農業経営者の高齢化や後継者不足により遊休農地化が懸念される。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入【令和3年度市町村別調査結果より】

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう
【令和3年度「担い手の農地利用集積状況調査」(市農林課提供)より】

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和12年度	集積率	90.0 %
今年度の新規集積面積	51 ha	農地面積(C)	5,140 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	2,878 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	56.0 %

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	6.4 ha	6.4 ha	0.0 ha
課題	・ 農業経営者の高齢化や後継者不足により、特に傾斜地にある樹園地の遊休農地化が懸念される。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	6.4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	1.3 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	黄区分の遊休農地が発生していないため、工程表の策定は行わない。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	ha	(←未記載とする)
---------------------------	----	-----------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者
	8 経営体 12.3 ha	8 経営体 8.4 ha	9 経営体 7.0 ha
課題	・ 集約農業(施設栽培(ミニトマト等))を希望する相談が増えているが、適した農地の確保が難しい。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	310.4 ha	262.1 ha	540.7 ha	371.0 ha
新規参入者への貸付について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			37.1 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	19 人
		農地利用最適化推進委員の人数	8 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回	
取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月	遊休農地の解消	・農地パトロール
8月	遊休農地の解消	・農地パトロール
9月	遊休農地の解消	・農地パトロールの結果分析、農地利用(農業経営)意向把握調査の実施

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回		
開催時期	9月3, 4日	相談会名	未定
参加者数	10人前後	開催場所	ひらかドーム
相談会の内容	「ひらかわフェスタ2022」の農業委員会ブースにおいて、新規就農者及び新規就農者希望者等を対象とした相談コーナーを設け、農業委員・推進委員が相談に対応する。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)